

山口県熊毛郡田布施町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

(1) 常任委員会の行政視察の実施

議会は、議案の審査だけでなく、請願、陳情の審査や行政の基本的施策等について提言し、実現を図っていくという積極的な姿勢が求められていることから、常任委員会では行政視察研修を行い、町民の負託に応える議会の実現を図っている。

(2) 勉強会の実施

複雑化する行政の監視機能を果たすために、平成25年4月から勉強会を開始し、これまでに9回を重ねる。議員の資質及び行政力を高め、施策の提言にもつなげられるよう努めている。

2 住民に開かれた議会

(1) 議会広報紙による広報

定例会ごとに年4回、議員自らが編集し、定例会の翌月に発行。内容は本会議内容や研修報告などを掲載している。また、議会広報のモニター制度を設け、モニターの意見を掲載するなど、開かれた議会活動として大きな役割を果たしている。

(2) 町議会ホームページの開設

わかりやすい議会を目指して、議会に関するさまざまな情報を公開している。

①本会議・委員会の開催予定

②一般質問通告内容

③議会広報

④本会議会議録

(3) 会議録の閲覧

本会議の会議録は図書館、議会事務局において閲覧することができる。

3 地域振興のために特別な取組みをした議会

(1) 高齢者向け買い物送迎サービス

高齢者世帯の増加により、住民から高齢者の交通支援への要望を多く聞いていた。本会議での一般質問や委員会の先進地視察、委員会審議を重ね、執行部に必要性を訴え、平成26年10月1日に本格運用開始に至った。

(2) 豪雨時の浸水対策として、中学校地下に貯留槽を設置

市街地が豪雨時には度々浸水の被害を受けており、近年では全国的に甚大な

被害を与える集中豪雨も増加している。そのため、委員会で地下に貯留槽を設置した先進地視察等を行った。平成26年度から付近の中学校グラウンド地下に貯留槽を設置する工事に着手し、議会としても委員会等で意見を出している。